

コロナ禍における町内会(自治会)運営に関する

『緊急アンケート調査』集計結果

2020.8.11

苫小牧市町内会連合会

- 『コロナ禍』における町内会(自治会)運営について緊急アンケート調査を行いました。
- 調査内容は、『新しい生活様式』の中における町内会活動の対応や工夫、今後の活動における方向性や考え方、そして町連の事業運営等について伺いました。
- 調査対象は、市内82単位町内会の会長(代行者 含) 宛(ご自宅宛て)に実施しました。
- 調査期間は、令和2年7月21日から令和2年8月7日まで行いました。
- 回答数 69件 (84.1%)
 - ※ 割合標記は、回答数69町内会に対する割合としている。
 - ※ 集計内容は、回答を尊重しており、100%にならない場合がある。
(回答の中で、内数や内書きのない場合がある。)
- 調査票 別紙のとおり

◆ 皆さんの町内会についてお聞かせください。（該当する項目に“☑”をしてください。）

問1 『令和2年度 定期総会』は開催しましたか？

- 書面総会とした。 33 町内会 (47.8 %)
- 例年通り開催した。 12 町内会 (17.4 %)
- 〔□ 開催時期も例年通り。11 町内会〕
- 〔□ 開催時期は遅らせた。0 町内会〕
- 議案書を配布しただけで総会とした。 21 町内会 (30.4 %)
- その他〔 〕 3 町内会 (4.3 %)

問2 本年5月以降、『定例的な役員会』は開催していますか？

- 例年通り開催している。 31 町内会 (44.9 %)
- 例年より回数を減らして開催している。 14 町内会 (20.3 %)
- 役員数を減らして（限定）開催している。 9 町内会 (13.0 %)
- 必要に応じて開催している。 15 町内会 (21.7 %)
- 〔□ 定例的には開催していない。14 町内会〕
- 〔□ 電話連絡だけにしている。1 町内会〕

問3 本年度における下記の事業は、実施（予定）しますか？

- 夏休み「ラジオ体操」
- 〔□ 実施 19 町内会 (27.5 %)〕
- 〔□ 中止 45 町内会 (65.2 %)〕
- 〔□ 検討中 2 町内会 (2.9 %)〕
- 児童、生徒の見守り(交通安全・非行防止)
- 〔□ 実施 48 町内会 (69.6 %)〕
- 〔□ 中止 9 町内会 (13.0 %)〕
- 〔□ 検討中 2 町内会 (2.9 %)〕
- 夏祭り（盆踊り等）
- 〔□ 実施 0 町内会 (- %)〕
- 〔□ 中止 63 町内会 (91.3 %)〕
- 〔□ 検討中 1 町内会 (1.4 %)〕
- 敬老会
- 〔□ 実施 6 町内会 (8.7 %)〕
- 〔□ 中止 44 町内会 (63.8 %)〕
- 〔□ 検討中 11 町内会 (15.9 %)〕

* 実施する場合の開催方法は

- 〔□ 従来通り1 町内会〕
- 〔□ 開催回数を増やして0 町内会〕
- 〔□ 場所を変えて2 町内会〕

* 中止に替えて（検討中含む）

- 〔□ 記念品配布38 町内会〕
- 〔□ その他10 町内会〕

□ 高齢者事業（サロン、見守り等）			
〔□ 従来通り実施	6	町内会	(8.7 %)
〔□ 実施回数を減らして実施	14	町内会	(20.3 %)
〔□ 場所を変えて実施	0	町内会	(- %)
〔□ 中止している	28	町内会	(40.6 %)
□ 防災訓練			
〔□ 実施予定	5	町内会	(7.2 %)
〔□ 中止予定	31	町内会	(44.9 %)
〔□ 検討中	23	町内会	(33.3 %)
□ 運動会			
〔□ 実施予定	0	町内会	(- %)
〔□ 中止予定	36	町内会	(52.2 %)
〔□ 検討中	1	町内会	(1.4 %)
□ 環境美化活動（大掃除、花壇整備等）			
〔□ 実施予定	40	町内会	(58.0 %)
〔□ 中止予定	15	町内会	(21.7 %)
〔□ 検討中	14	町内会	(20.3 %)
□ いも掘り、果物狩り等			
〔□ 実施予定	2	町内会	(2.9 %)
〔□ 中止予定	33	町内会	(47.8 %)
〔□ 検討中	6	町内会	(8.7 %)
□ クリスマス会、餅つき			
〔□ 実施予定	5	町内会	(7.2 %)
〔□ 中止予定	21	町内会	(30.4 %)
〔□ 検討中	32	町内会	(46.4 %)
□ 忘・新年会			
〔□ 実施予定	6	町内会	(8.7 %)
〔□ 中止予定	18	町内会	(26.1 %)
〔□ 検討中	39	町内会	(56.5 %)

問4 コロナ禍における新たな実施（予定）事業をお聞かせください。

□ 「お見舞金」の配布	〔□ 実施又は予定	7	町内会	(10.1 %)
	〔□ 検討中	1	町内会	(1.4 %)

〔金額は：	2,000 円	2	町内会
〔金額は：	3,000 円	2	町内会
〔金額は：	10,000 円	1	町内会
〔金額は：	600 円	1	町内会

□ 「商品券」、「図書券」等金券の配布				
	〔□ 実施又は予定	8	町内会	(11.6 %)
	〔□ 検討中	0	町内会	(- %)

〔金額は：	2,000 円	2	町内会
〔金額は：	1,500 円	1	町内会
〔金額は：	1,000 円	3	町内会

□ マスク、衛生用品の配布

〔□ 実施又は予定 2 町内会 (2.9 %)〕
 〔□ 検討中 6 町内会 (8.7 %)〕

□ 日用品等の配布

〔□ 実施又は予定 5 町内会 (7.2 %)〕
 〔□ 検討中 7 町内会 (10.1 %)〕

□ 高齢者などへの絵手紙や暑中見舞いの送付

〔□ 実施又は予定 3 町内会 (4.3 %)〕
 〔□ 検討中 0 町内会 (- %)〕

□ 会費の減額

〔□ 実施又は予定 6 町内会 (8.7 %)〕
 〔□ 検討中 4 町内会 (5.8 %)〕

〔 4月から 3月まで 3,600円の減額(年額)〕
 〔 4月から12月まで 900円の減額〕
 〔 4月から 9月まで 2,400円の減額〕
 〔10月から 3月まで 0円の減額(集金しない)〕
 〔 4月から 9月まで 1,800円の減額〕

□ 特に考えていない。 〔 22 町内会 (31.9 %)〕

□ その他 (協議、検討中外) 〔 10 町内会 (14.5 %)〕

【特に取り組んでいる事業があればお聞かせください。】

- ・ 会館内の感染防止対策として、手洗い場に『ペーパータオル』、『非接触型のハンドソープ』を設置、アルコール消毒液等を配備、さらに、『非接触型の体温計』も配備した。
- ・ 町内会費は、5月、6月にほとんどが年間分徴収しており、年度内にどれだけ活動が出来るかわからない状況。現時点で新たな事業が出来るか検討中である。
- ・ 敬老会を廃止し、高齢者支援事業で祝い品を贈呈。救急キット配布。
「ふれあい交流会」を実施し、年間行事とした。
- ・ 検討中の案件は、下半期(10月)に入ってからコロナ禍の状況により対応する。
- ・ 高齢者の見守りや公園での子どもたちの監視を重視している。
- ・ 世帯に対し600円をお見舞金として配布。あわせて、有料ゴミ袋(10L、及び20L 10枚づつ)配布予定
- ・ ラジオ体操は3日間に減らして実施。
- ・ 防災用品をそろえ、会館で使用できるようにした。(利用時)
発電機の整備、新規・中古品を買った。
- ・ ゴミ袋(10L、3袋)会員全戸に配布予定。10月中旬実施予定。
- ・ (仮称)検討委員会を設置し、敬老会などの開催について協議する予定。

【特に取り組んでいる事業があればお聞かせください。】

- ・役員会は、8月から通常に戻す予定。
- ・後期の町内会費徴収後に、各種事業中止状況を踏まえて（ある程度の金額を確定させる）、各部からの意見を集約して、会員世帯単位で還元方法を決定する。
- ・七夕の花火大会（町内）を実施した。
- ・小中学校にマスクの寄贈。未使用マスクを地域住民より集め、町内の医療機関（澄川病院）へ寄贈した。
- ・敬老会は、お祝いのお弁当をドライブスルー方式で渡すようにしている。サロンは、これまで通り開催しているが、1回の参加人数を減らしている。
- ・町内「大クイズ大会（応募方式）」、「読書大会（ライン応募）」、その他「高齢者への慰問ハガキ」など多数企画している。
- ・週末に、「マイナンバーカード&マイナポイント」申請会場設置事業&防災訓練中止に伴うチラシ啓発事業を行う。
- ・行事中止に伴う予算全額の一部を「マスク・日用品(ゴミ袋)」等の配布。
- ・町内会費は従来通り徴収する。
- ・新たな事業は、8月の役員会で検討。
- ・高齢者向けサロンの中で、人数制限にてマージャン教室を実施。
- ・年度の後半で、可能な事業や補正予算を検討する予定。
- ・広報誌「あすなろ」の発行の維持。会員の把握 情報の伝達 情報の収集これは、会の存続、機能の維持につながる。 会員←→班長郡長←→役員会
- ・安全安心の啓発 町内の清掃、花壇の手入れや公園樹木剪定など交通安全、登校時の見守り、声かけなど防災意識の啓発
- ・町内会館改修費の積立
- ・LED街路灯取替資金の積立
- ・原則的に8月までの事業や会議等については中止、または延期を決定している。
- ・新町内会館の完成「10月末」に向け、落成・運用の準備に取り組んでいる。
- ・ほとんどの事業が実施できない事。
- ・マスク・衛生用品の配布はないが、会館に準備。
- ・町内会会員への特別な寄贈は行わない。替わって地域の小・中学校へのコロナ感染防止対策として、マスク、手・指消毒液等の他、学校図書の実に購入費用の寄贈を予定している。
- ・中止した事業費を原資に、全会員世帯に商品券（金額も含め）の配布を検討中。
- ・備品点検など充実の為に尽力。
- ・今後役員会で検討を重ねる。

【特に取り組んでいる事業があればお聞かせください。】

- ・アフターコロナに備え衛生用品を備蓄することも含め検討中。
- ・敬老会も含め今後の事業の在り方を考えて行きたい。
- ・実施できない事業がかなりあり、年度末（3月）に「お見舞金」を配布したいと考えている。

問5 コロナ禍において、町内会が苦慮している点についてお聞かせください。(いくつでも・・・)

- | | | |
|--|-----------|------------|
| <input type="checkbox"/> 町内（住民）の情報が途絶えてしまった。 | <u>10</u> | 町内会（14.5%） |
| <input type="checkbox"/> 住民からの、相談が多くなった。 | <u>2</u> | 町内会（2.9%） |
| <input type="checkbox"/> 高齢者事業（サロン、見守り）などが出来ない。 | <u>29</u> | 町内会（42.0%） |
| <input type="checkbox"/> 会館の維持運営が難しい。（貸出等） | <u>14</u> | 町内会（20.3%） |
| <input type="checkbox"/> 回覧板や会報の配布など情報の発信、共有ができない。 | <u>7</u> | 町内会（10.1%） |
| <input type="checkbox"/> 会費の徴収が難しくなった。 | <u>11</u> | 町内会（15.9%） |
| <input type="checkbox"/> 市の助成金・補助金の使途目的にあう事業実施ができない。 | <u>35</u> | 町内会（50.7%） |
| <input type="checkbox"/> 町内（地域）で、事件や事故が目立つようになった。（交通事故含む。） | <u>1</u> | 町内会（1.4%） |
| <input type="checkbox"/> その他 | <u>6</u> | 町内会（8.7%） |

【現在、町内会として苦慮している点をお聞かせください。】

- ・貸館が出来ない時期が長く、収入減となっている。
- ・町内の集会等がほとんど、出来ない状況であり、会員の顔が見えないのが非常に危惧している。会員の意見を聞ける状況でもなく、町内会費に見合った活動をどのようにしていくかが問題である。
- ・4月より、町内会行事が全て中止になり、町内会員の情報が少なく、会員の安否が気になる。対策として、町内会役員、特に防災部長、防犯部長、郡長、班長、民生委員との情報交換を密にし、従来以上に会員の「安全・安心」対策に努めている。
- ・年度当初に計画した行事の実施の可否判断の基準をどのように設定するか難しい。また、活動を中止した場合、会員、役員の今後の町内会活動への参加意欲、協力度合いなどの意識低下が心配。
- ・近年中に役員が半減しそう。町内会運営が困難、休止 or 極小化を本年度検討していく。
- ・町内会活動は、役員一同情報を收拾して、常時対応している。不自由はない。コロナ禍の目安がつけばと思っている。
- ・役員会が出来ないので、町内会行事について会議が出来ない。
- ・高齢者サロンは、6月後半から少人数で実施している。
- ・高齢者の自宅での“ひきこもり”が心配されるが、サロン等の事業はリスクが伴うので実施できず困っている。
- ・コロナ禍において、人とひとの接触を避けるため、班長への依頼は、町内会費集金のみとし、寄付金の集金（日赤社資、赤い羽根、歳末たすけあい募金、樽前神社祭典寄付(本年ナシ)）について、町内会費1ヵ月300円の中で支出することに決定しました。

【現在、町内会として苦慮している点をお聞かせください。】

- ・通常の役員会は重要議案が生じたときに参集いただき、それ以外は、回覧方式で案内（町連、行政からの通知もあわせて）している。会員の方には、町内会だよりで通知している。助成金・補助金の使途について拡大解釈をしていただきたい。
- ・現状は、中止と決定したことで、問題は出ていないが、いつ頃から、再稼働出来るか、難しい選択になっている。子どものラジオ体操は、間隔を空けて、するように指示している。敬老会中止、記念品贈呈の指示のみ決定している。
- ・イラダツらしき行動が多数発生している。（5件）警察に相談し、パトロール強化を依頼。（5月下旬から6月にかけて発生）
- ・3つの『密』が重ならないようにして、月例役員会は実施する予定。毎月発行の町内会だよりも発行予定であり、町内会からの発信は従来通りです。高齢者の見守りが出来ていない。
- ・町内会事業が実施できないので、住民の町内会に対する意識が薄れたり、絆が深まらない。
- ・お隣同志、町内会同志の顔の見える活動や親睦が難しいので、町内会と個々のつながりを心がけている。
- ・当町内会は、市営住宅（約300戸）が今年より3年かけて退去する予定で、会費収入が減少し、市広報の配布もなくなりさらにコロナもあり、寄付で各戸に歩くことも止めたため、会費を50円値上げ予定であったが、コロナでその総会も出来ず、現在に至っている。
その総会は、当初延期を考えたがコロナが終わらなかったので中止とし、議案書を配布し、意見があれば求めたが意見はなかった。
ラジオ体操は、2日間のみで、低学年・高学年を分けてそれぞれ1回づつとした。
敬老会は、敬老の日ではなく、日時を年末まで延期し、内容も変えて行う予定。
高齢者事業（サロン）は、8月から実施予定。
- ・東京、札幌を含めたコロナの発生状況をテレビ、新聞から情報入手し毎月発行の町内会報で知らせ、その都度町内会活動との関連や影響を会員に知らせ安心感を与えています。今のところは苦情などはない。平常心保持のため、町内各自治会（公住）での花壇整備、雑草取りに気分転換させている。
- ・行事を通して参加住民の意見交換ができない。町内会だよりを通して情報提供するも、反応が“今いち”である。
- ・限定した中では、この時だから防災訓練等を実施していきたい。また、高齢者の見守りを注意しているが検討中である。
- ・R2.2の苫小牧感染者発表後、当面の事業を中止する検討を行ったが、終息が見えない中で役員会を予定通り開催しながら、町内会区域の実情を共有しているので、特に苦慮している部分はないと判断している。
- ・事業活動の中止により、町内（住民）の情報が希薄。
- ・月1回発行の「町内会だより」が休刊。
- ・予定がたたない事。
- ・10年間、毎月開催している「ふれあいサロン」の中止についても、再開が望まれている。

【現在、町内会として苦慮している点をお聞かせください。】

- ・子供や高齢者対象の行事ができない事や、30年以上続いているふるさと祭りや運動会の中止。
- ・行事等が開催出来ないのも、町内会の活動状況が会員に伝わりにくい。
- ・各種行事の実施判断が難しい・(いつ、どのタイミングで実施するのか・・・)
- ・毎月第2日曜日実施の資源回収事業はマスクを配布するなど予定通り実施している。
- ・2年度総会で承認されている町内会行事は町内会役員会、各行事実行委員会で中止の答申を受け決定しているものの、種々不満が出るのが心配されます(現在のところない)。
- ・老人クラブ会員からこれまで毎週行われている、娯楽会(麻雀・将棋・囲碁など)の再開を望まれているが、市の高齢者福祉センターの状況を参考に理解をいただいているものの、早期の再開を要望されている。
- ・計画した事業の中止に伴い、従前のような住民の姿が見えず声も聞こえなくなり、今後の町内会運営の在り方も考えていかなければと考えている。
- ・コロナ禍において、情報の発信と内容の充実の為には如何にするか。
- ・サークル活動の中止を余儀なくされている。
- ・年度計画事業がほとんど中止になり、検討しているが代替え事業に苦慮している。
- ・総会は、役員会で承認を受けた後、会報で総会の中止を知らせ、資料を会館に置き期間を指定し、閲覧できるようにしたが、希望者はなく承認とみなした。
- ・今まで、毎月町内会だよりを発行していたが、行事が出来ないので書く記事に困っている。

◆ 町連事業についてお聞かせください。

問6 町連の『永年功績者表彰』に関する「表彰式」の実施についてお聞かせください。

- 新年会が中止されると、「表彰式」も中止してよい。
15 町内会 (21.7 %)
- 「表彰式」は、何らかの形で単独開催した方がよい。(昼間の開催等)
11 町内会 (15.9 %)
- 「表彰式」は行わず、町内会経由で「表彰状」を手渡しするだけでよい。
42 町内会 (60.9 %)
- 出席者の人数を減らし、「表彰式」を数回に分けてでも開催した方がよい。
1 町内会 (1.4 %)

問7 町連の『新年会』事業についてお聞かせください。

- 「新年会」は、中止した方がよい。
36 町内会 (52.2 %)
- コロナ禍の状況をもう少し見守りながら判断をした方がよい
32 町内会 (46.4 %)
- 「新年会」は、開催した方がよい。
1 町内会 (1.4 %)

* その方法は? (するとしたら…。)

- | | |
|-----------------------|--------|
| 〔会食、配席の方法を検討する | 5 町内会] |
| 〔参加人数を限定する | 6 町内会] |
| 〔昼間・夜間に分けるなど開催回数を検討する | 0 町内会] |
| 〔地区別に分けて参加人数を減らす | 2 町内会] |

【「表彰式」、「新年会」について、ご意見があればお聞かせください。】

- ・町内会活動は、基本的にボランティア活動。経費も必要最小限とすべき。表彰も20年以上としている。・・・?
- ・コロナ禍中です。中止しましょう。
- ・功績者には、町内会単位で該当者に表彰状を手渡すことで良い。
- ・現時点では判断できない。10月くらいに1月の状況を展望し、新年会が出来るなら、新年会を実施し、もしくは表彰式の単独開催も。それもムリなら町内会に表彰状を手渡しでよい。
- ・皆が集合しての表彰式は、新型コロナの関係上難しく、この先も安全が確認されていないので、1年間は無理を考える。
- ・高齢者が多く、密になる可能性から不安を感じる。コロナが終息してから再開した方がよい。
- ・敬老会は中止し、「お祝い金」を届けるようにした。会費は大事なことなので、減額はしない。(軽々な判断は避けるべき。)
- ・コロナ禍中です。中止しましょう。
- ・今年に限っては、開催を避けていただきたい。
- ・10月くらいに判断したらよい。

【「表彰式」、「新年会」について、ご意見があればお聞かせください。】

- ・新年会への出席は個々人の判断に任せる。
- ・全ては、新型コロナウイルスの感染状況と考えるが、例えば各町内会2名にとかにしてはどうか。
- ・コロナ禍の今年度は中止、来年度に落ち着いたら実施した方が良い。
- ・予見しないコロナの出現による非常事態ですから、表彰該当者には気の毒ですが1年お待ち願って、次年度に実施した方が事務的には軽減されるのではないのでしょうか。
- ・永年功績者表彰は行うべき。しかし、コロナ禍の状況にもよるが、三密はさけた方はよい。
- ・来年まとめて10年が11年になってもよい。
- ・コロナの現状において表彰式中止は止むを得ない。表彰者は高齢者が多いことから参加も躊躇されるものと思われます。
- ・新年交礼会に合わせ実施していますが、町内会としては新年会の中止も検討中で、こうした中で開催については消極的にならざるを得ないと考えます。
- ・コロナ禍の収束がなければ、中止したほうが良い。
- ・コロナの現状において新年会中止はやむを得ない。参加者は高齢者が多いことから参加も躊躇されるものと思われます。
- ・前問6で述べたように、消極的に考えます。
- ・今年度に限り中止はやむを得ない。
- ・広報などで受賞者をたたえると良いと思う。
- ・自粛中であり、世の中の流れに沿った方が良いと思う。批判的になりかねない。

問8 町連主催の『研修会・講演会・セミナー』事業についてお聞かせください

- 全体（全市）的な研修事業等は、中止した方がよい。 34 町内会（49.3%）
- コロナ禍の状況をもう少し見守りながら、ブロック別など小規模な事業を検討した方がよい。 23 町内会（33.3%）
- 市内の関係機関、団体などの研修事業に参加していく事でよい。 1 町内会（1.4%）
- 計画している事業より、単位町内会が事業用に使用若しくは備蓄する“マスク”や“消毒液”など衛生用品等を斡旋する事業を行う方がよい。 11 町内会（15.9%）

問9 道町連主催の『研修交流』事業などについてお聞かせください。（開催するとしたら…）

- 本会として不参加の方がよい。 34 町内会（49.3%）
- 開催都市（登別市）の状況や会場の状況により判断した方がよい。 15 町内会（21.7%）
- 道町連の開催方針に従い、参加した方がよい。 9 町内会（13.0%）
- 参加人数を限定するため、町連役員だけで参加した方がよい。 11 町内会（15.9%）

問10 今後、住民の皆さんが生活意欲を喪失しないために、コミュニティ活動の機運が消滅しないために、町内会としての思いや要望、期待などをお聞かせください。

【どのようなことでも（なければナシでも）結構です・・・。】

（コロナ禍における防災対策、補助金・助成金の在り方、福祉活動、情報の発信・共有・収集・・・）

- ・助成金は、コロナの感染がはじまった頃まで遡って出してほしい。感染防止対策を町内会独自でやっているが、会員が少ない町内会では、負担になる。
- ・会員への情報提供を従来以上に密にし、会員相互の信頼を継続する。
具体的には、回覧やチラシによる「情報提供」及び民生委員との情報を共有し、必要に応じて個別支援を検討している。また、コロナ感染症対策として、商品券（2,000円分）を全戸に役員が個別に訪問し、お見舞いをする。（8/1～8/5の期間）
- ・今年度1年間の状況、経過、実績、結果を見たうえで、それぞれの機関（理事会、委員会、ブロック会議等）で議論、検討する必要がある。
- ・要望、期待が大きいほど失望も大きい。地道な活動を継続することを会員は望んでいる。市への要望は町内会ごとでは通らない。町連として提案しよう。
- ・当町内会では、女性パワーが大きく、コロナ禍でも、今後のステップの一つとして頑張っています。町内会での喪失感はありません。
- ・人とひとの接触を避けるため、コミュニケーションが出来ず、活動の意義や皆さんへの啓蒙活動が限定される。消毒液やマスクの備蓄に対する支援・補助を考えてほしい。
- ・会員へマスク、消毒液を届けたかった。（不足している時期に）
- ・まだまだ、発生している状況の中では、仕方がないことです。

【どのようなことでも（なければナシでも）結構です・・・。】

（コロナ禍における防災対策、補助金・助成金の在り方、福祉活動、情報の発信・共有・収集・・・）

- ・ワクチンができ、人々の行動が安定するまでは「ガマン」だと考えます。人との接触が問題ですので、最小限な行動をとるべき。
- ・事業の可否判断が少し早いのではないかと。役員会を開催しながら様々な検討をして、月単位で判断すべきではないかと。
- ・自然災害等で、避難所生活を想定した場合にコロナ禍の状況を想定しての、資材などの備蓄を急ぐ必要があります。また、コロナ禍の状況で自宅避難も想定されるので、各家庭での備蓄品の必要性も改めて伝えることも大事だと思っています。
- ・定例役員会を毎月1回開催しているので、町内の住民間の問題が生じて、処理することができる。コロナ感染防止については、行政やマスコミの危機状況を防ぐ対処方法が住民に広く理解され、防止意識も高まっているが、町内会として身近なところから、なお強力に防止対策を呼び掛けることが大切かと思う。そこで、防止対策のPRを考え、進めなければならないと思っています。
- ・こんな中にあればこそ弱者（高齢者・要援助者）などとのつながりを強めるよう発信していきたいと考えています。
- ・コロナが再熱している状況の中ですので、今年中の行事は中止とし、来年1月以降の行事は10月くらいに判断で良いのでは。少なくとも町連も高齢者が多いため、普通以上に慎重に判断した方が良いでしょう。
- ・町内会は会員と共に共存しているという意識を持続させるため、社会（市）と町内会と住民の常に関わっているとき、町内会報、各役員と住民の挨拶、声掛けをこまめに心がけるようにし、住民から情報を入手するようにしています。情報不足、疎外感を一番恐れていると思い、安心感の中で生活されることを考えています。補助金・助成金の在り方については、予算執行上、廃止することは出来ず、ありのままで決算し、翌年度の予算編成の時に幾らかの上積みをするを考えています。なお、敬老会祝い金のみ増額配布することにしています。
- ・毎月の役員会開催のため3密対策（テーブル配置変更・入館時の手指の消毒・マスク着用、網戸設置（窓出入口）換気扇の確認等）を実施し、各行事が実施出来る方策を考えています。中止は簡単です！！考える機会と時間を取ることです。
※ 社協からの資料提供で独居老人宅へ“お家で楽しむ一便”を配布する予定です。（認知症・うつの対策の一環として）
- ・外での防災対策
- ・少人数での講演等を各町内会単位で行うのはどうか。
- ・交通安全に関すること等は（旗の波等）
- ・ただ終息を待っているだけでは、活性化には繋がらないはずですが、日々の感染者数発表を確認するだけでも、なかなか足踏みせざるを得ないと考えています。
- ・クラスター発生を心配する声が役員会でも根強く、今後の他町内会の動向なども見させていただきながら、活動の判断をしたいと思えます。
- ・現在は、町内会の組織としての機能は維持しているが、行事の中止が続き、会のモチベーションがなくなり、会員の辞退、役員の辞退が出てくると思われる。

【どのようなことでも（なければナシでも）結構です・・・。】

（コロナ禍における防災対策、補助金・助成金の在り方、福祉活動、情報の発信・共有・収集・・・）

- ・コロナウイルスの感染拡大は、今までのマンネリ化した態勢を大きく変えつつある。三密をさけること、マスクをすることが今後も長く常識として求められるだろう。
- ・次年度以後の行事、盆踊り、ラジオ体操、バス旅行、サロンなど、今、改善代案を考えないと、来年以後も中止になってしまうだろう。（今年は中止でよいが来年は？）
- ・高齢者ばかりが意見を出しては、町内会の事業はできなくなる。若者の参加と意見の取り込みに、SNSの活用、スマホで会議など、新しい情報化も必要になっている。会館などでWiFiを利用できる環境作り、技術講習や助成が欲しい。新しい時代の組織運営が必要だ。
- ・今年は我慢の年です。町内会の新たな様式を考える年にしたい。
- ・今年に限り、助成金の使途は町内会で判断させて頂きたい。
- ・6月以降、役員会を開催している。（マスク、消毒、三密には配慮している）→情報の共有及び状況報告。
- ・社協発行の「脳トレ」ドリルを高齢者に配布。
- ・民生委員さんを中心に、可能な範囲で高齢者支援。（電話、声掛けなど）
- ・新しいブロック会議に期待します。
- ・生活弱者がいる場合を除き、自粛が日常の場合町内会だからと力を入れずに静かに見守ることでよい。
- ・基本的には、無理せず出来ることで。ただ、しないことが優先されているので、ここは静かにで良いのではないのでしょうか？向こう三軒両隣でも、皆遠慮する時期ですから。
- ・苫小牧市では、もう3か月半も感染者が出ていないが、いつまで活動が出来ないのか。
- ・高齢者は自宅に籠って誰とも話さず“うつ”になりそうだと言っている。
- ・市のほうから、「注意して行事をやってもいいです。」と発表して欲しい。
- ・全て町内会の判断でといわれると、いつまでも行事は出来ない。
- ・町内会としても上記の件については同様に心配しております。
- ・現状においては止むを得ないことではありますが、当町内会で「町内会だより」はこれまでと同様毎月発行しており、各種の情報提供を行う中で関心がそれないよう努めてまいります。
- ・当町内会の敬老会お祝い会は中止としておりますが、対象者（630名程度）全員に町内会で用意する記念品の他、米寿、白寿、百寿のお祝いに品を例年通り配布する予定としております。
- ・町内会の「春季パークゴルフ大会」は例年より10数名少なかったものの、予定通り開催をしております。
- ・全ての面において大きな制約を受けている中で、住民同士をどのように結びつけていくのが良いか、なかなか名案が浮かばず苦慮しているところです。
- ・住民の集まる場所、語り合える場所をいかに確保するか小さなコミュニティであるが、なかなか難しい課題です。

【どのようなことでも（なければナシでも）結構です・・・。】

（コロナ禍における防災対策、補助金・助成金の在り方、福祉活動、情報の発信・共有・収集・・・）

- ・可能な限りの情報を発信してほしい。
- ・防災対策などについて（避難所運営）などは・・・!?
- ・急に大きな変化はないと思う。
- ・現段階においては、新たな事業は考えていないが年度末の状況を見て住民に対しての事業を考えて行きたい。
- ・高齢者の方が多いので、これからも出来るだけ会報などで情報等を発信していくとともに、見守り活動を続けていきたい。